

# 文章題のめあてとまとめ 解決の道筋

## —— 3年「べつべつに いっしょに」(啓林館) について ——

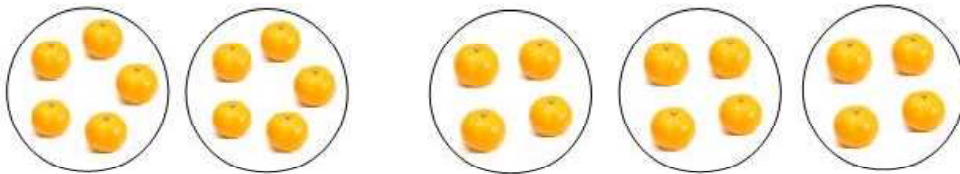
(注：ページ番号は、平成 27 年啓林館のものです。問題文は著作権の関係で掲載できません。お手数ですが、教科書を参照してください。)

下 p.58 ①  $a \times b + c \times b = (a + c) \times b$  の問題

(分配法則の基礎経験)

$a \times b + c \times d =$  の問題 (自作) と

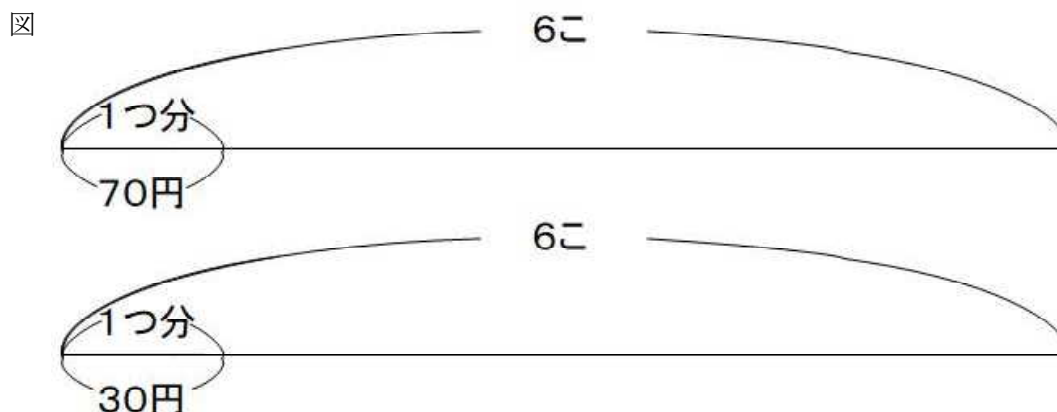
みかんが 5 こずつのっているさが 2 まい、4 こずつのっているさが 3 まいあります。みかんはぜんぶでなんこありますか。



本時の  $a \times b + c \times b = (a + c) \times b$  の問題 とを比べることで、次のような一般化されためあてをつかむ。

### めあて

かける数が同じで、2つのかけ算を合わせる時の、ぜんぶの数のもとめ方を考えよう。



式  $\cdot 70 \times 6 = 420$     $30 \times 6 = 180$     $420 + 180 = 600$    答え 600円

$\cdot 70 + 30 = 100$     $100 \times 6 = 600$    答え 600円

### まとめ

かける数が同じで、2つのかけ算を合わせる時の、ぜんぶの数をもとめるには、じゅんに計算したり、1つ分をまとめてから計算したりする。

下 p.60 ③  $a \times b - c \times b = (a - c) \times b$  の問題

(分配法則の基礎経験)

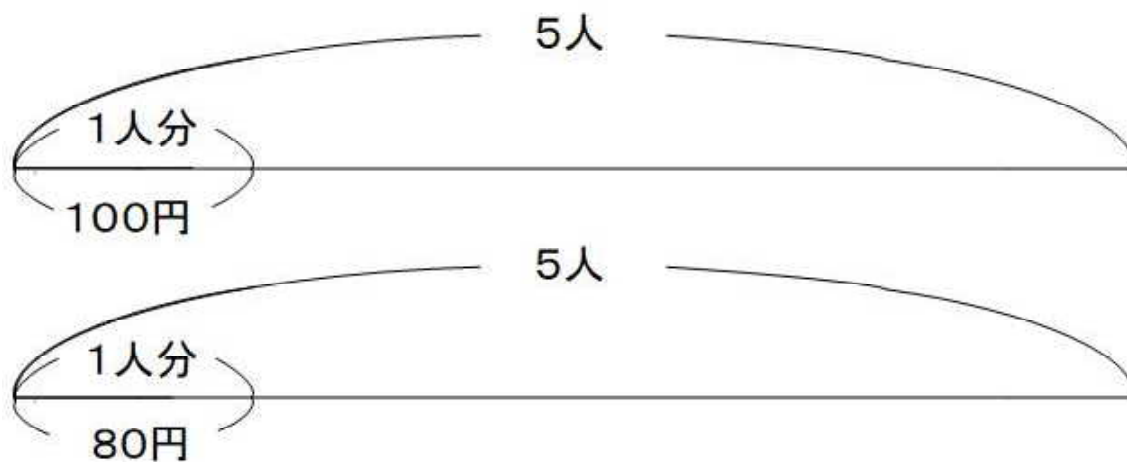
3 年下 p.58 ①の  $a \times b + c \times b = (a + c) \times b$  の問題 と

本時の  $a \times b - c \times b = (a - c) \times b$  の問題 とを比べることで、次のような一般化されためあてをつかむ。

めあて

かける数が同じで、2つのかけ算のちがいのもとめ方を考えよう。

図



式  $\cdot 100 \times 5 = 500$     $80 \times 5 = 400$     $500 - 400 = 100$       答え 100円

$\cdot 100 - 80 = 20$     $20 \times 5 = 100$       答え 100円

まとめ

かける数が同じで、2つのかけ算のちがいのもとめるには、じゅんに計算したり、1人分のちがいを出してから計算したりする。

★ p.58 をべつべつにかけるページ， p.59 をまとめてかけるページとしたりせず，一方の解き方ができた児童に他の解き方を考えるように促したり，学級全体で話し合う場面で，他の解き方に触れたりして，しだいに分配法則の基礎経験が主体的にもてるようにし，それぞれの解き方を説明する場面では，対話的な学びが進むように理解を補ったり，多様に考えることを称揚したりすることが望ましい。

次単元「⑭計算のきまり」では，どちらの解き方でも答えが同じになることに気付くようにして，深い学びに至るようにしたい。